

夏はツキノワグマ(クマ)のえさが少なく、さらに秋のドングリなどが不作になると、山だけでなく、田畑や人家周辺でもクマに出遭う可能性が高くなります。



山を歩くとき

- 鈴やラジオなど音の出るものを必ず携帯し、できるだけ音を鳴らしながら行動してください。
- 単独行動は避け、複数人での行動や犬を連れて歩くなど、人の気配をクマに意識させるようにしてください。



山際の田畑や藪の多い河川敷、薄暗い歩道などを歩くとき



- クマの行動が活発になる夕方から早朝にかけては、できるだけ出歩かないようにしてください。やむを得ず行動するときは、音の出るもの(鈴、ラジオ、自動車のクラクション等)を鳴らすなど、人がいることをクマに知らせるよう心がけてください。
- クマは昼間でも藪や薄暗い物陰に潜んでいる可能性があります。お近くでクマの目撃情報があったときなどは、日中の人家近くであってもクマが近くにいると思って十分注意してください。

長野県の山には、どこにでもツキノワグマが生息しています。安全・安心な暮らしと豊かな自然環境を共に育んでいくため、まず自分自身の安全確保に御協力ください。

[ツキノワグマの目撃情報や被害に関するお問い合わせは]

長野県南信州地域振興局林務課

TEL: 0265-53-0423(直)

長野県林務部鳥獣対策・ジビエ振興室

TEL: 026-235-7273(直)



ツキノワグマ

これだけは

のこと

知っておいて!!

【ポイント①】

ツキノワグマ は、長野県の森林のどこにでも生息しています。

森林に入るときは、どこでもクマに出遭うかもしれないことを想定してください。

- ➡ ○ 森林には、できるかぎり一人では入らず、複数人で行動してください。
- 飼い犬(中型犬・大型犬)がいれば、連れて行動してください。

【ポイント②】

ツキノワグマ が人を襲うのは、突然人間に出遭ってしまい、パニック状態で人間を怖がって防衛本能から襲うことがほとんどです。あらかじめ人の存在を知っていれば、クマの方から人に出遭わないように避けてくれます。

- ➡ ○ 森林の中や山際では、鈴やラジオなどを携帯し、常に音を鳴らして、クマに自分の存在を知らせながら行動してください。
- 万が一、クマに出遭ってしまったら、慌てたり騒いだり抵抗したりしないで、目をそらさず、ゆっくりと後ずさりしながらその場を離れてください。

【ポイント③】

ツキノワグマ と農地や住宅地に出くわしてしまうのは、山で秋に食べているドングリなどの実りが少なく、えさを求めて歩き回っているためです。特に夕暮れから早朝にかけての薄暗い時間帯に出没する可能性が高くなります。

- ➡ ○ 山際の地域や薄暗い歩道などでは、夕暮れから早朝の時間帯に屋外で行動することは避けてください。
- クマが目撃された地域などでは、昼間でも屋外で行動する場合は、必ず鈴やラジオなどを常に鳴らしながら行動してください。

【ポイント④】

ツキノワグマ は縄張りを持たないので、えさのある場所では、いくつものクマが代わる代わるやってきます。そのため、たとえ1頭を捕まえても、安心することはできません。

- ➡ ○ クマのえさになるものや好物があると、1頭を捕獲しても次から次へと違うクマが出てくる可能性がありますので、できるだけクマのえさとなる農作物は電気柵で守り、廃果や生ゴミは放置しないで適切に管理してください。